

# 18 さがしさがけん 佐賀市(佐賀県)

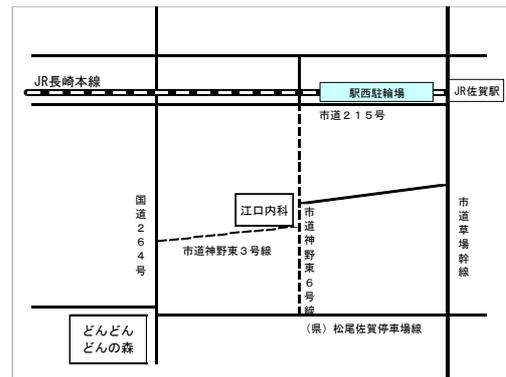
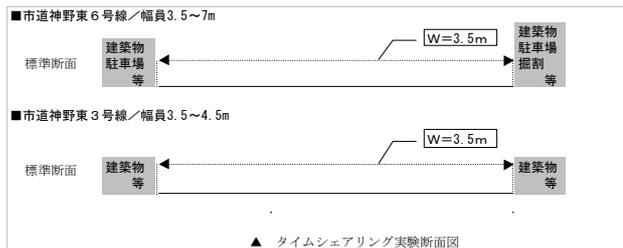
## (1)自転車利用環境整備に関する社会実験

### ■ 施策内容

佐賀市 建設部 道路課が実施主体となって、平成 12 年 11 月 13 日～平成 12 年 11 月 17 日に、JR 佐賀駅周辺の市道（神野東一丁目、栄町地内）において、自転車利用環境整備に関する社会実験を行いました。

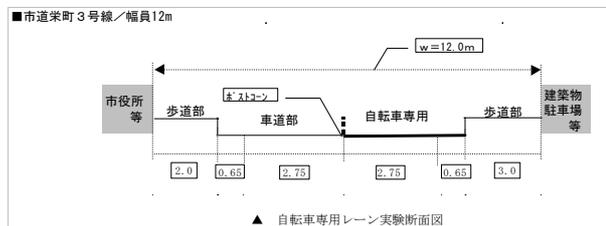
#### タイムシェアリング 神野東一丁目 地内 (7:00～9:00)

タイムシェアリングによる自転車優先道路とするため、道路自体に変化はありません。



#### 自転車専用レーンの確保 栄町 地内 (7:00～19:00)

車道部を片側半分にし、一方通行規制とすることで、1車線を自転車専用レーンとしました。



### ■ 施策目的

社会実験は、施策の検証と市民へのPRという位置づけのもと、自転車利用者にとってのメリットはもとより、沿線住民にとってのメリットを把握するとともに、沿線住民や沿道利用者あるいは通過車両との合意形成の過程及び結果等を整理することで、今後の自転車利用環境整備の基礎資料を得ることを目的としました。

# 18 さがし さがけん 佐賀市(佐賀県)

## (1) 自転車利用環境整備に関する社会実験

### ■ 施策実施状況

#### <タイムシェアリングによる自転車優先道路>

自転車利用が多い幅員3～5m程度の道路を、朝の通勤通学時間帯に限って沿道住民以外の自動車の通過を規制し自転車利用の安全性、利便性を高めた運用方法。

- 市道神野東6号線(江口内科前)の状況



#### <自転車専用レーンの確保(自動車一方通行規制)>

2車線道路において車線を減少させ、自転車専用レーン確保した利用方法。

- 市道栄町3号線(市役所駐車場前)の状況



(1)自転車利用環境整備に関する社会実験

●市道栄町3号線(北端/佐賀学園前)の状況



朝日新聞(平成22年11月1日)

# 自転車の利用促進へ 実験的に専用・優先道



## 13日から佐賀市内で 効果・必要性など探る

県渋滞対策協

通勤通学に自転車を利用する場合のメリットを調べるために、建設省や佐賀市などによる県渋滞対策協議会は十三日から、佐賀市中心部に自転車の優先道路と専用道路を実験的に設置する。期間は十七日までの五日間で、自転車の利用者と沿線住民にアンケートする。協議会は「優先道路の設置効果や必要性などを調べ、将来的な自転車利用の環境整備に活用したい」と話している。

市道栄町3号線(北端/佐賀学園前)の状況

市中部の交通渋滞の解消の一助として、自転車の利用促進を検討していくための初の調査。既存の道路を使って、自転車の利便性を高めることが可能かどうかを、優先道路と専用道路を暫定的に設けて動向を分析する。

市中部の交通渋滞の解消の一助として、自転車の利用促進を検討していくための初の調査。既存の道路を使って、自転車の利便性を高めることが可能かどうかを、優先道路と専用道路を暫定的に設けて動向を分析する。

市中部の交通渋滞の解消の一助として、自転車の利用促進を検討していくための初の調査。既存の道路を使って、自転車の利便性を高めることが可能かどうかを、優先道路と専用道路を暫定的に設けて動向を分析する。

市中部の交通渋滞の解消の一助として、自転車の利用促進を検討していくための初の調査。既存の道路を使って、自転車の利便性を高めることが可能かどうかを、優先道路と専用道路を暫定的に設けて動向を分析する。

市中部の交通渋滞の解消の一助として、自転車の利用促進を検討していくための初の調査。既存の道路を使って、自転車の利便性を高めることが可能かどうかを、優先道路と専用道路を暫定的に設けて動向を分析する。

# さがし さがけん 18 佐賀市(佐賀県)

## (1) 自転車利用環境整備に関する社会実験



### 自転車のための道づくり社会実験

**佐賀市で社会実験を行う社会的背景**

佐賀市は、自転車利用の多い都市です。しかし、近年は自動車利用が増加しています。(佐賀市の通勤・通学車の約40%は二輪車、約44%は自家用車を利用)

そのため道路では、自転車と自動車とが混在し、渋滞、事故の要因にもなっています。渋滞の中で排出される自動車の排気ガスは、地球温暖化の要因にもなっています。

一方、自転車は排気ガスのない無公害の交通手段。渋滞緩和と排気ガス減少による地球温暖化防止のためにも、自転車利用を促す、自転車利用を促進します。

さらに、毎日自転車を利用することは、適度な運動になり、健康維持にも寄与します。

**自転車の多い道**  
**自動車も自転車も多い道**  
**道路の使い方を工夫**  
**自転車も自動車も安全で快適に走れる環境づくりが求められます。**  
**自動車に配慮した道**  
**自転車を優先する道**

**社会実験って何?**  
道路に関する施策において「新しい施策の導入に先立ち、場所と期間を限定して効果を試行、その結果を評価し、施策を本格的に導入するか否かの判断材料を得ることを目的に取り組むものです。」  
メリットは? = 皆様の意見で施策をやり直せること  
このような新たな手法に建設省をはじめ、運輸省、佐賀県など、国、県、市の関係行政機関が、一致協力してチャレンジしています。

**実施日**  
平成12年11月13日から平成12年11月17日

**実施地区**  
JR佐賀駅周辺の市道

**実験内容**  
① 自転車優先時間帯の確保(タイムシェアリング)  
② 自転車専用通路の設置

**佐賀市は自転車利用環境づくりのモデル都市!!**  
**続けましょう、広めましょう、自転車利用!!**  
佐賀県県政対策協議会では、安全・快適な自転車走行空間を創出するための社会実験を実施します  
佐賀県県政対策協議会(建設省、運輸省、佐賀県警署、佐賀県、佐賀市、日本道路公社)

**今回の社会実験の概要**

① 自転車優先時間帯の確保  
実施時間帯/朝7:00~朝9:00

② 自転車専用通路の設置  
実施時間帯/朝7:00~夕方7:00

社会実験にご協力をお願いします。

具体的には  
朝、自転車が早い時間帯だけ、自転車優先の道路にする社会実験を行います。  
佐賀駅西駐輪場から南へ入って江口内科、エスベラサ神野(マンション)前を通って東道に至る市道214号と江口内科から西に向かって国道に至る市道211号を、朝7:00~朝9:00まで自転車優先道路とします。  
そのため、沿線の方々以外の通過車両(裏道として利用する車)に対しては、案内看板等でお知らせして、できるだけ進入を控えていただきます。

具体的には  
自動車交通の少ない2車線道路の片側を自転車専用通路にする社会実験を行います。  
朝7:00~夕方7:00の間、2車線道路のうち佐賀食糧事務所側の1車線を自転車専用通路とし、市役所側の1車線を北方向への自動車一方通行とします。

**関連調査** 今回の実験に合わせて、交通実態調査やアンケート調査を実施します。  
社会実験に関するお問い合わせは 佐賀市建設部道路課(TEL0952-24-3151) E-Mail: doroi@city.saga.saga.jp

### ■ 工夫した点

- 情報の周知(公報など)  
新聞広告、ラジオCM、チラシ、立て看板、住民説明資料(地元説明)
- 安全対策  
(タイムシェアリング) 看板等による案内  
(自転車専用レーン) ポストコーン、道路標識による規制表示、実験の案内表示、誘導員の配置
- 効果の検証  
交通実態調査、アンケート調査